

## 進捗状況の概要

### (1) 総論

平成 27 年 12 月に事業全体を統括・推進する組織として学長直下に「地方創生推進本部」を設置するとともに同本部に「キャリア支援センター」を設置した。また、平成 28 年度から実施する地方創生学士プログラムの初年次科目として「長崎地域学」及び「キャリア入門」の開講準備を行い、平成 28 年度入学者の受講に備えた。

### (2) 実施計画の進捗状況

①12 月に地方創生推進本部を設置し、事業全体を統括・推進する体制を整えた。

2 月に COC+事業推進協議会を開催し、事業内容の確認と今後の事業計画及び事業推進体制について協議した。この中で、地域の課題解決に向けて調査・研究する分野別地域課題解決プロジェクトチームを必要に応じて発足させることとした。また、3 月に長崎総合科学大学から正式に協力大学となることの同意を得た。なお、外部評価委員会の組織編成については今後も検討を続けることとする。

②12 月、2 月に事務連絡会を開催し、12 月は事業計画、共同事業契約書、補助金の執行・申請の確認を行うとともに各大学及び自治体の現状報告を行い、2 月には COC+事業推進協議会及び協定締結式の進行内容等の確認と各大学・自治体の現状報告を行った。さらに、3 月には遠隔講義システムの通信方法やシステム内容の確認を行った。また、山口大学、広島市立大学、熊本大学を訪問し、先進事例の紹介や取組状況についての意見交換を行った。

③2 月に「キャリア支援センター」を設置し、教員の選考を行うとともに事務職員を 2 月に、キャリアアドバイザーを 3 月に雇用した。なお、事務職員及びキャリアアドバイザーの公募等に時間を要したため、代替措置として 12 月からパート職員を 2 名採用するとともに派遣のキャリアアドバイザーにより模擬面接等の就職支援を行い、事業を進めた。

④11 月から 3 月にかけて、時間割を含むカリキュラム改正を検討し、学則、教養教育履修規程等の規定改正を行うとともに「長崎地域学」及び「キャリア入門」の授業内容、授業担当者を決定し、平成 28 年度からの新生が受講できる準備を整えた。また、担当教員による授業のための教材準備も進めた。

⑤11 月に遠隔講義システムの仕様策定委員会を設置し、仕様策定後、公告・入札を経て業者選定を行い、2 月に長崎大学に同システムを配備した。

⑥12 月に COC+推進コーディネーターの選考を開始し、1 名を併任配置するとともに県北地区コーディネーターの選考を進め、4 月から 2 名体制とすることとした。

⑦1 月に県内企業 2 社のトップによる講演会を開催、3 月に「県内企業トップセミナー」と題して 2 回目の講演会を開催した。

⑧1 月に簡易版のチラシを作成し事業協働機関、COC 又は COC+採択大学に配付・広報するとともに 2 月開催のキックオフミーティング参加者に配付・広報した。3 月に事業概要を記載した詳細版のリーフレットを作成し、COC 又は COC+採択大学、事業協働機関のほか県内自治体等に配付・広報した。

⑨2 月に教員、学生、地方自治体や企業の職員及び一般の方々を対象としたキックオフセミナーを開催し、本事業の取組や県の地方創生へ向けた取組などを紹介し、本事業の理解を深めた。

⑩3 月にホームページを開設し、広く本事業の取組を公開した。

⑪2 月に長崎大学に遠隔講義システムを配備し、長崎県立大学佐世保校及びシーボルト校と多元中継を試行し、問題点の確認を行い、通信方法などの改善策を協議した。また、県内企業トップセミナーを長崎県立大学にも配信し、県北地区と県南地区の二元中継によるセミナーを開催した。

⑫参加大学においては、所属学生の地元定着を目指す独自の取組を行った。

(COC+大学名：長崎大学、事業名：若者が輝く、若者で輝く長崎創生～地方創生人材学士プログラム～)